

Agriculture Innovation Platform in Africa(AIPA) Agriculture Digital Base Development(ADBBD) Small Smart Community(SSC)

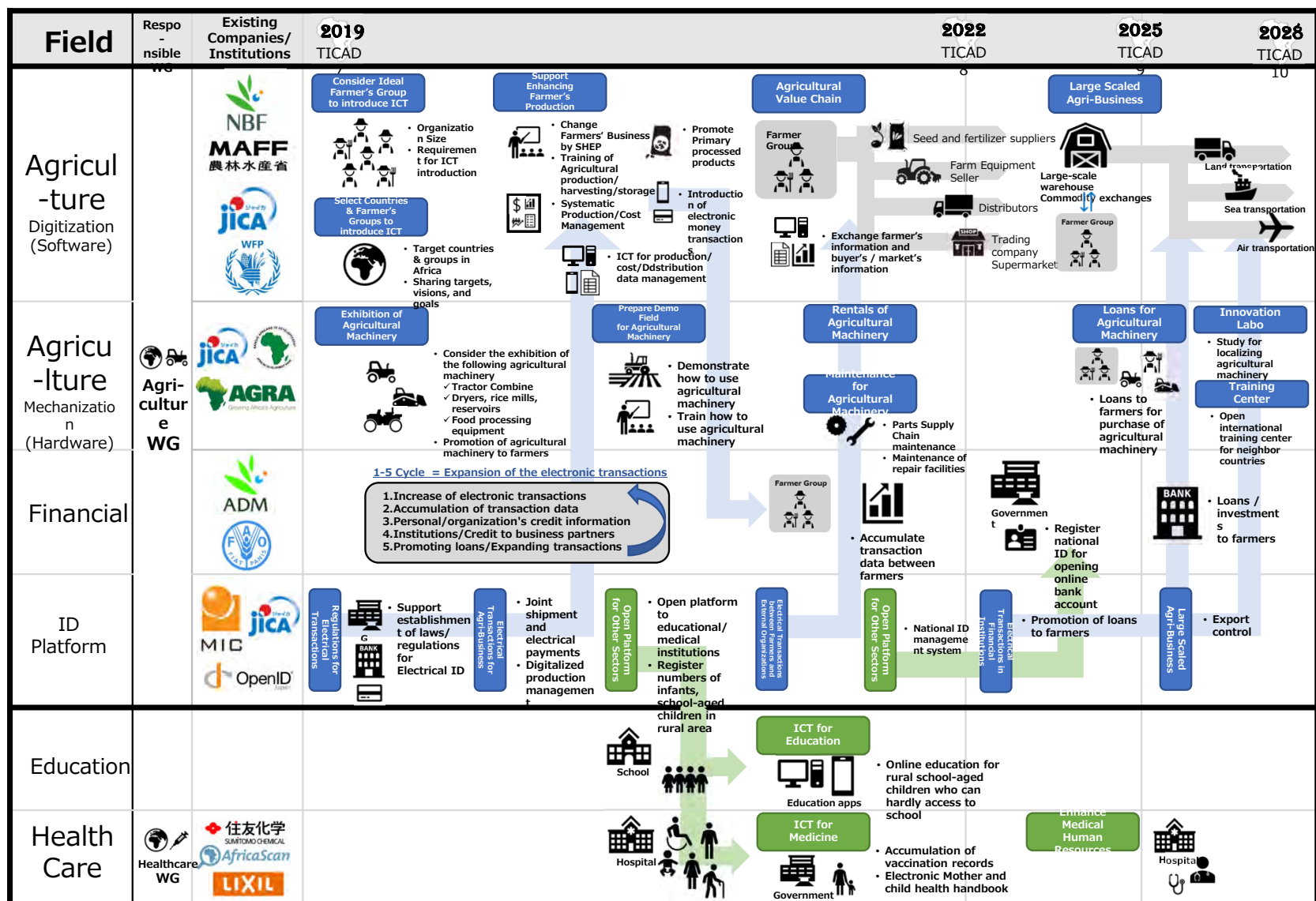
20th March 2023

日本植物燃料株式会社(NBF)

contents

- 経緯と農水省方針
- 農作物売買マッチングアプリ“AGROPONTO”
- SSCインフラ：再生可能エネルギー・通信・倉庫や資機材店などのデジタルハブ化
- デモ圃場

African Business Council Agriculture Working Group Roadmap



COVID-19の長期化やウクライナ危機等を背景とするアフリカ諸国での食料需給の悪化に対応すべく、稲作、人材育成及びフードバリューチェーンの形成といった、日本が知見を有する分野をアフリカのパートナーと連携して行うことにより、アフリカにおける持続可能な農業・食料システムを構築し、食料安全保障を強化する。

1. フードバリューチェーンの整備

① 農業生産性の向上への支援

穀物の輸入の多いアフリカにおいて、農業生産性を高め、輸入代替を行うための支援を行う。



スマホを活用した電子農協事業

- ・専門家による技術移転
- ・灌漑施設導入・水資源利用効率化
- ・農業機械化の推進
- ・デジタル技術を活用した、営農技術の普及や流通の効率化など

② 流通・加工の効率化支援

収穫後のロス低減を図るため、流通・加工の効率化を行う。



穀物流通を支える道路整備

- ・精米・搾油等のアグロビジネス振興
- ・港湾・道路・鉄道などの輸送インフラとの連携

③ 地域の農村を支えるインフラ整備

太陽光発電等の再生エネルギーを活用し、農業生産とあわせて、地域の通信、給水など関連インフラとの連結性を強化する。

2. 気候変動問題への対応

① 気候変動に対応した新品種の開発普及

温室効果ガス削減や干ばつに強い品種の開発を行い、普及を図る。

② 気候変動に対応した節水・省資源型の農業

干ばつや洪水などの水ストレスに対し、データ活用農業や現地条件に適応した節水灌漑等の手法を開発・普及する。

③ 森林の保全と木材産業の育成

持続可能な森林経営及び違法伐採対策を国際機関などのパートナーと連携して達成



ケニアにおける材木育種

また、食料生産等と調和した森林経営を支援する。

④ 水産資源の維持・管理

水産資源管理能力の強化や、付加価値の高い水産加工技術を導入した、持続可能な水産業の振興を図る。

3. 民間セクターとの連携等

① 民間企業の技術等を活用した生産・流通改善

民間企業の技術・ノウハウを活用・連携し、食を基軸とする付加価値形成への支援を行う。



水産物の鮮度保持に係る現地指導

② 商品作物のフェアトレード等新たな要請への対応

商品作物を巡る新たな国際的な認証制度や認証に対応した生産活動を支援し、安定的なサプライチェーンを構築する。



Uganda Arabica Slipi Falls RA・UTZ・有機JAS認証
ウガンダ・シビフォルズ
有機JAS認証されたコーヒー

③ 栄養改善に向けた取組

民間セクターや研究機関と連携した栄養改善活動により、慢性的な栄養不良の解決に取り組む。



官民連携による栄養改善の取組

農業デジタル化基盤構築事業 Agriculture Digital Base Development



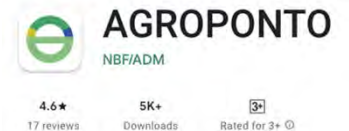
バーチャルマーケットアプリ“AGROPONTO” 2022年4月公開

メンバー数推移 (2022年4月⇒2022年8月4日⇒2022年9月3日⇒**2023年3月16日**)

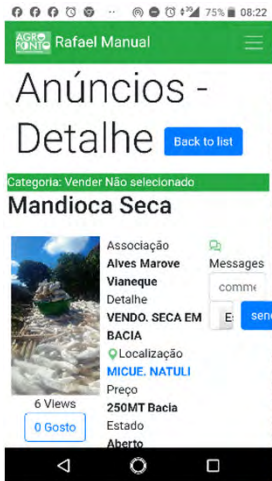
モザンビーク北部 320⇒7,900⇒8,786⇒**13,944**

モザンビーク南部 250⇒5,500⇒20,548⇒**20,765**

セネガル 120⇒5,000⇒**5,478**



合計
40,000+
メンバー

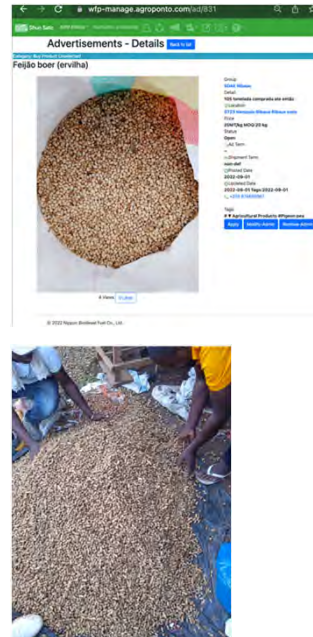


Northern Mozambique

- STD版 + WFP版
- メンバー数:
7,900 (2022/8/4)
⇒ 8,786 (2022/9/3)
⇒ 13,944 (2023/3/16)
(STD版9,085+WFP版 4,859)
- 取引総額:
640,000 MZN (2022/8/4)
⇒ 3,715,214 MZN (2022/9/3)
⇒ 5,241,293 MZN (2023/3/16)



	Bombas Nicone Received, Paid 2022-08-03 10:36:42 Unit price 45cMT/kg Quantity 21000kg Total price 945000 MT Payment method Direct payment (Cash) Payant name António Nicone Nicone Payant number 258872301974 Application details: Compra de amendoim Expiry date: 2022-08-03
	Grupo de muelleira-rio Received, Paid 2022-08-03 10:31:09 Unit price 10MT/kg Quantity 1000kg Total price 10000 MT Payment method Direct payment (Cash) Payant name Alberto Impenua Araújo Payant number 258864827961 Application details: Expiry date: 2022-08-03
	Bombas Nicone Received, Paid 2022-08-03 10:30:08 Unit price 10MT/kg Quantity 5000kg Total price 50000 MT Payment method Direct payment (Cash) Payant name António Nicone Nicone Payant number 258872301974 Application details: Compra de Milho Expiry date: 2022-08-03



Southern Mozambique

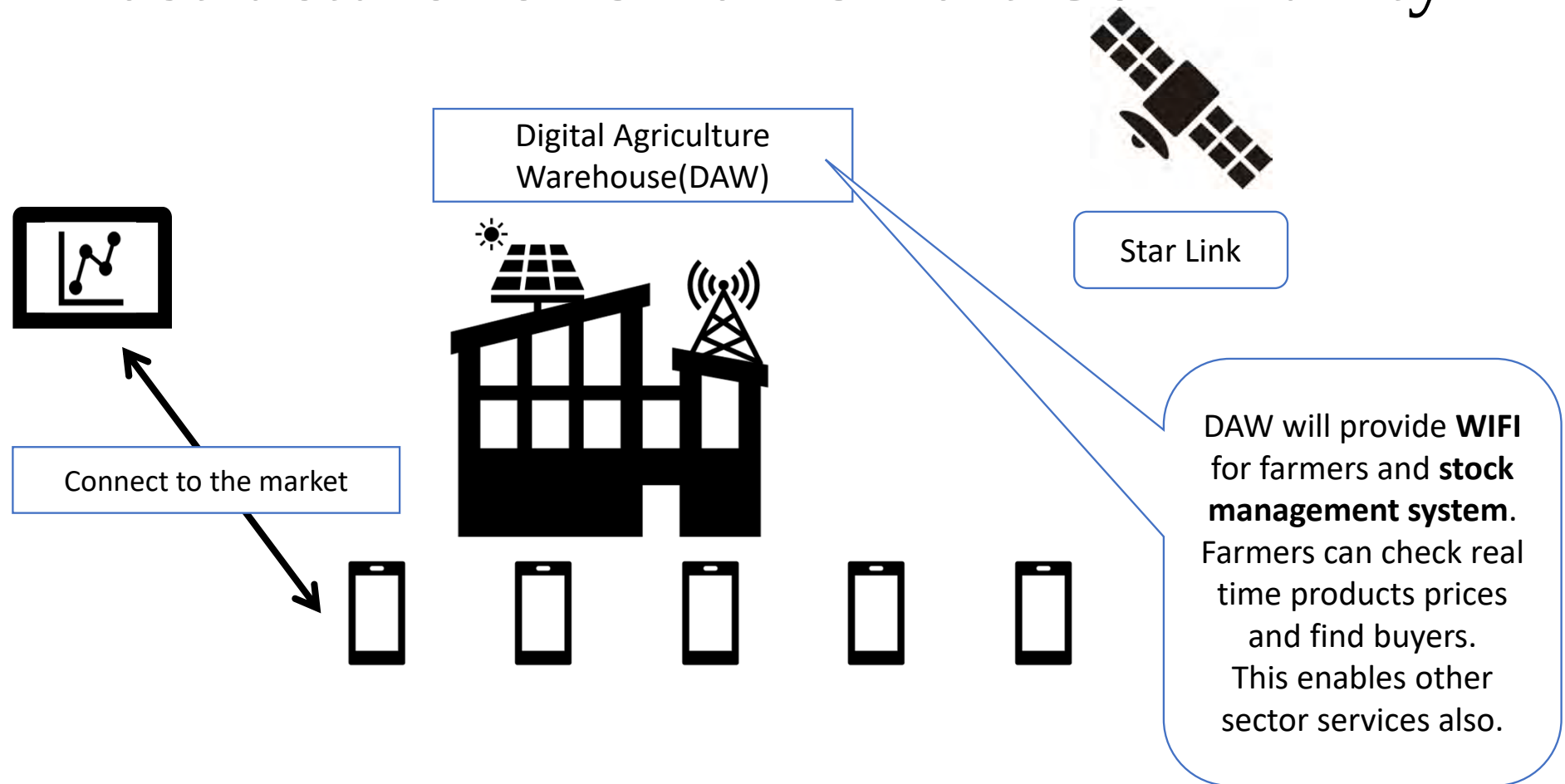
- 2022年8月4日～2022年9月3日～
2023年3月16日
- ユーザー数:
5,500(8/4)
⇒20,548(9/3)
⇒20,765(3/16)
- 取引総額:
1,828,553 MZN(8/4)
⇒2,958,503 MZN(9/3)
⇒5,062,733 MZN(3/16)



商船三井とのSSC(Small Smart Community) の実証



Basic Infrastructure for Small Smart Community



デモ圃場

- 日本企業の製品やサービスを実際に経験してもらう場としてデモ圃場開設を検討
- 候補：リバウエ農業学校（IAR）圃場 100ha以上保有、約10～20ha耕作中
リバウエ中心部から約10km（幹線道路4km＋非舗装道路6km）のところにあり。電波無～弱。
溜池により水を利用可能。土壌は肥沃なところが多い。
2022年は5人のインターン（1月～3月）を受け入れ、IARの圃場0.5haを利用してピーマン生産販売やソーラーポンプや溜池活用等の共同事業をした。コミュニティから5人の季節労働者が関わった。2023年も同様に5人のインターンを受け入れる。

